ことぶき新報

第 316 号 2020 年 1 月 10 日発行
出雲市塩冶有原町 1-50
社会福祉法人ことぶき福祉会『ことぶき園』
発行責任者： 山根広美
Tel ：(0853) 31-9900
Fax：(0853) 31-9901

明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

ことぶき園のお年寄りさん達は大きな事故や病気もされることもなく、皆さん元気に年を越されました。

年の瀬の 27 日には、笑庵ことぶきのお年寄りさんと共に、ことぶき園で賑やかに蕎麦打ちをしました。

Mさんはエプロンを着、こねたり、伸ばしたり、美味しい蕎麦を作られ、大人数で食べる年越し蕎麦となりました。皆さん「美味しい美味しい」とおかわりをし、沢山食べられました。

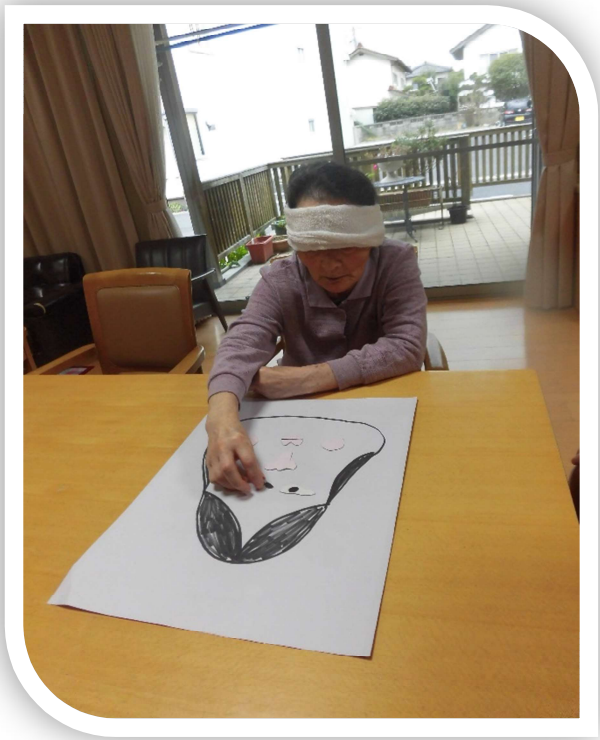
元旦には福笑いをして盛り上がり、お昼におせちを食べられました。翌日には正月らしくぜんざいを用意すると「大好物だよ。バンザーイ」と大変喜ばれました。美味しい物を食べたり、テレビで駅伝の応援をしたり、皆さんが正月を満喫されました。

今年も季節の料理や行事を楽しんでもらえるよう、色々企画していきたいと思います。

先日、学生時代の友人と数年ぶりに会う機会がありました。
「今は何をしているの？」から始まり色々な話をしました。介護の仕事の話となり、いつもしている事を簡単に説明しました。朝玄関や居室の掃除をしたり花や畑の水やり、洗濯もします。お昼には、お年寄りさんと一緒にご飯を食べて、トイレや歯磨きのお手伝い。午後からはお風呂のお手伝いをしたり、乾いた洗濯物を一緒に畳んだりすると伝えました。

すると友人から「主婦みたいだね」と返ってきました。言われてみると確かにそうだなと思います。以前働いていた施設では病院のように１日のスケジュールが細かく決められていて、何時にお茶、ご飯、入浴、就寝と全てが決められ、そこのお年寄りさんたちは制限ある一日を過ごされていました。それがことぶき園にはありません。

夜、面白いテレビ番組がやっていれば皆さんと一緒にコタツにあたりながら夜更かしすることもあります。翌朝、眠くて起きられないと言われれば、ではもう少しとゆっくり寝てもらうこともあります。制限のある１日ではなくお年寄りさんを尊重した、お年寄りさんが主役である１日を過ごしています。

私が以前のように時間に追われていた職員のようではなく、主婦のような立場でいられるのは、ことぶき園が『家にいるような生活』を大切に考えているからなのだと思います。

お年寄りさん一人ひとりに今まで過ごしてきた暮らしぶりやこだわりがあります。全てを実現するにはなかなか課題はありますが、なるべく普段の生活を変えず、『その人らしさ』を大切に日々過ごしていけたらと思います。